

新年 正月遊びの報告

年を越して10日あまりが経過しました。皆様は新年をどのような形で迎えられましたか？ほのぼの堀之内は年明け、1月4日から始動をしています。本年もご利用者に楽しんでいただき、ご家族の皆様にも安心してサービスをご利用いただけるように努めて参ります。

さて、年が開けて最初の週は、活動の中にお正月遊びを取り入れました。『福笑い』を行う際はハサミを使って顔や目、鼻等のパーツを切り抜いて頂き、それを使って、おかめさんやひょっとこの台紙に目隠しをして置いていきます。「これは何？」「鼻かしら？」と職員や周りのご利用者に尋ねながら参加され、個性的な顔が完成すると、それを見ながら「面白い顔ね」「結構難しいわね」「懐かしいわ～」とお話されていらっしゃいました。



他にも『いろはかるた』や『書き初め』を実施しました。

いろはかるたでは読み手が札を読むと、皆様、文字を探し、札に手を伸ばしていらっしゃいました。

書き初めの際はご利用者が書きやすいように、持ちやすい筆ペンや半紙ではなく、上質紙を使用しています。隣に並べたお手本を見ながら、真剣な眼差しで書かれているのが印象的でした。



「今日は懐かしい事をしたわね」「色々思い出すわ」と皆様お話しして下さり、新年のほのぼの堀之内は笑顔あふれるスタートを迎える事ができました。

●1月イベント情報●

・1月の体験農園は、12日(木)13日(金)17日(火)18日(水)28日(土)を予定しています。

正月 回想法の報告

皆様は「回想法」という言葉を聞いた事がありますか？

回想法はアメリカで生まれた心理療法のひとつです。認知症の方は新しい事を覚える事は難しくても過去の記憶が比較的残っている事が多くみられます。自分の過去や昔の事を話す事で精神の安定や認知機能に効果があると言われていています。今回、お正月をテーマに実施をしてみました。



ご利用者の皆様に記憶を思い出しやすくする為、写真で具材を配置したお重を用意したり、初詣や初日の出の写真を用意して、職員が司会者となり、ご利用者に尋ねる形で進行をしていきます。

お重を見ながら、「皆様はどんなおせち料理を食べましたか？」「好きな物がありますか？」「今年召し上がった物は？」と言った形で尋ねていくと、最初は尋ねられた事に答える形でしたが、話が進んでいくと、ご利用者同士で「そういえば皆、昔は家で作っていたわね」「親戚が集まって準備が大変だったのよね～」とお話しが自然発生し、話が尽きない穏やかな時間となりました。

新型コロナ感染症の状況について

昨年末から再び新型コロナの新規感染者が増加に転じており、年が明けてからも高止まりしています。第8波の流行は自宅療養をされる方が増えている印象をお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、高齢者の入院比率が過去最大になっており、1日の死亡者数も更新をしています。国内では制限の緩和がされている中、冬休みも終わり、人の動きがより一層活発になると思われますので、引き続き各ご家庭でも感染対策のご協力を頂ければと思います。